

「かがやいている子」をめざして

今井小学校では、「かがやいている子」をめざし、子どもたちが、自分に自信をもち、めあてや願いをもって挑戦していくことを大切にしていきます。しかし、学校生活の中で、失敗やトラブルはつきものです。子どもたちの健全な成長のため、「失敗やトラブルをどう乗り越えていくのか?」「どんなめあてがふさわしいのか?」など、保護者や地域の皆様と共に考え、共に協力していきます。気になることがありましたらお声をお掛けください。

児童支援専任 矢島祥子

児童指導・特別支援 本間貴之

特別支援コーディネーター 矢島祥子、上原和枝、渡邊健一、稲葉夏季

児童支援専任教諭の仕事

担任支援

「学級崩壊」防止のための学級状況のアセスメント(調査分析)とコンサルテーション(改善相談)

いじめ・暴力防止

学校いじめ防止対策委員会の推進、プログラム策定と実践の推進等

教育相談活動

児童・保護者・カウンセラーとの連携等

人間関係調整能力の育成

横浜プログラムの教育課程への位置付けと実践の推進等

チーム支援の推進

発達障害・不登校・日本語指導が必要などの課題をもつ児童への指導プランの作成支援と共有。関係機関連携の推進

校内支援体制の整備

組織的な指導体制構築のための組織改革等(校内委員会の企画運営)

社会性の取得の推進

器物破壊指導プログラム等による規範意識の醸成等

社会資源活用のための連携窓口

地域、幼・保・小・中、児童相談所、警察、区役所、療育センター等



特別支援教育とは・・・

一人ひとりの学習状況や教育的ニーズに応じた適切な支援が図られることによって、個々の子どもの生きる力を育む教育です。生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な教育や指導及び必要な支援を行います。本校では取り出し学習として、担当教諭と別室で、週に1時間程度、学習支援などを行います。

特別支援教育の対象となる教育的支援が必要なお子さんとは・・・

- ・話を聞いていても、何をすればよいのかが理解しにくい。
- ・じっとしていることが苦手で、がまんできない。
- ・自分の言いたいことがうまく表現できないため、コミュニケーションがとりにくい。
- ・みんなと同じペースで勉強したり、活動したりすることが苦手である。

など自分のペースであればもっている力を発揮できるのに、学校生活(集団生活)の中では、なかなかその力を発揮できないお子さんのことです。

「特別支援教育」について、ご質問・ご相談がある方は、児童支援専任: 矢島までご連絡ください。